

平成 30 年 7 月 吉日

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記

薬剤部 小泉 祐一

平成 30 年 6 月 15 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

オルケディア錠 1 mg / 2 mg (透析センター)

薬効 : カルシウム受容体作動薬

申請理由 : Ca 受容体に対するアロステリック作動活性を有する薬剤。シナカルセト塩酸塩と比較し上部消化管に対する副作用を軽減できる。

採用中止薬剤 : コアヒビター 10 mg

イクスタンジ錠 80mg (泌尿器科) 【院外限定】

薬効 : 前立腺癌治療剤

申請理由 : 80mg 錠の場合は 1 回あたりの服薬数を低減する。患者の服用時の負担を軽減することが期待される。

採用中止薬剤 : なし

イストダックス点滴静注用 10mg (血液内科)

薬効 : ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) 阻害剤

申請理由 : 適応は「再発または難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫」。末梢性 T 細胞リンパ腫 (PTCL) の疾患で既存の治療で対応できない症例に使用予定。

採用中止薬剤 : なし 【院内在庫、置かず】

スージャヌ配合錠 (糖尿病センター) 【院外限定】

薬効 : 選択的 DPP-4 阻害剤 / 選択的 SGLT2 阻害剤配合剤

申請理由 : DPP-4 阻害剤と SGLT2 阻害剤の配合剤である。服薬アドヒアランスの向上に寄与し薬剤費負担軽減につながる。

採用中止薬剤 : なし

加味帰脾湯エキス細粒 EK-49 (外科センター) 【院外限定】

薬効 : 漢方製剤

申請理由 : 消化器のはたらきを助けながら、足りない「血 (けつ)」を増やして不眠を改善する漢方。ケモの血小板減少に対して、改善効果があり。

採用中止薬剤 : なし

フォルテオ皮下注キット 600 μg (整形外科)

薬効： 骨粗鬆症治療剤

申請理由： 自己注射できる製剤。テリパラチドというタンパク質を有効成分とし、骨に対してヒト副甲状腺ホルモンと同じ働きをすることで、骨の新生を促進する。在宅にて自己注射ができる患者に使用。

採用中止薬剤： ケトプロフェンパップ 30mg 「日医工」 【本採用】 → 【院外限定】

ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg (消化器内科) 【院外限定】

薬効： プロトンポンプ・インヒビター

申請理由： 顆粒剤は小児用量の追加に伴い、飲みやすい剤形として開発された新用量医薬品及び剤形追加に係る医薬品。胃瘻患者にも使用できる。

採用中止薬剤： なし

グーフィス錠 5mg (消化器内科)

薬効： 胆汁酸トランスポーター阻害剤

申請理由： 胆汁酸トランスポーター阻害剤として初の製剤であり、他剤と別の作用機序を有する。既存の治療薬で対応できない難治性の患者に使用予定。

採用中止薬剤： リンデロン坐剤 0.5mg 【本採用】 → 【院外限定】

② 規格追加医薬品

ミルセラ注シリンジ 12.5 μg/250 μg (透析センター)

③ 剤形変更医薬品

イクスタンジカプセル 40mg → イクスタンジ錠 40mg (泌尿器科)

④ 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	後発名
オキシコンチン錠 5mg／10mg／40mg	オキシコドン徐放錠 5 m g／1 0 m g／4 0 m g 「第一三共」

※これまでどおり、外来での処方は先発品での対応もできるようにします。

⑤ 出荷停止、出荷調整について

ピシリバクタ注 出荷調整 在庫がなくなれば、一時オーダーをストップの可能性もあります。

⑥ 使用成績調査について

1. 調査区分 : 使用成績調査
2. 調査製品名 : マイクロカテキット ミラボーIII (シリンジキット)
3. 調査目的 : マイクロカテキット ミラボーIII (シリンジキット) 2.1Fr／2.9F r のマイクロカテーテルとしての製品設計の妥当性を、製品に求められる基本性能を評価することにより確認することを目的。
4. 調査予定期間 : 契約締結日より平成31年7月31日
5. 予定症例数 : 20症例
6. 調査責任医師 : 中央放射線部 画像診断部 部長 石井清午
調査分担医師 : 中央放射線部 画像診断部 医長 澤宗久

⑦ 医師主導研究について

試験名 : JACCR0 CC-13 試験 <倫理委員会承認済>

目的 : RAS 野生型切除不能進行・再発大腸癌を対象として、FOLFOXIRI+ベバシズマブ併用療法に対する FOLFOXIRI+セツキシマブ併用療法の優越性を検証する

試験デザイン : 多施設共同無作為化比較第II相試験 (非盲検)

投与期間 : 本試験の中止規準に該当するまで

責任医師名 : 青松直撥 先生

担当医師名 : 内間恭武 先生